



公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本・愛知

NEWSLETTER



スペシャルオリンピックスは知的障がいのある人のスポーツを応援します。

サマースポーツキャンプ報告

8月4日（金）～6日（日）に毎年恒例のサマースポーツキャンプを長野県大町市のマルハンロッジで実施しました。今年も、白馬でのサイクリング、大町でのゴルフ・釣りの3つのプログラムで体験、大町温泉にも行きました。キャンプファイヤーでは、火の神が現われた開始直後に豪雨が襲い、その後場所変更となりましたが、豪雨の中、名経大市邨高校生のトーチのアトラクション、室内でのレクレーションやダンスで楽しく過ごせました。最終日の山岳博物館では、野鳥やニホンカモシカなどに触れ合い、いつも訪れている大町やその周辺の山々の文化を知ることができました。参加して下さったアスリート、ボランティア、ファミリー、市邨高校の学生ボランティア、みなさんの協力で無事に楽しく終えることができました。マルハンロッジさんや事務局はじめ支援して下さった皆様にあらためて御礼申し上げます。（SP副委員長 東野泰之）



<サマーキャンプに参加して>

僕が今回のサマーキャンプで印象に残ったことは、アスリートの方とコーチ、僕たちボランティアが一体となってアスリートさんをフォローしながら活動し、「一体感」を感じることができた点です。またアスリートさん一人ひとりに個性があって、想像以上にみんな自分の中で色々なことを考えているのだということも学ぶことができました。今回、参加させていただきありがとうございました。（名古屋経済大学市邨高等学校 1年 星川 周）



ナショナルミーティング in 愛知報告

8月5日(土) 名古屋学院大学白鳥学舎で開催されました。アスリート司会、SON・愛知の田中寛大さん、サポーター司会は愛知淑徳大学学生の上古代健太郎さんが務めました。また、アスリートスピーチでSON・愛知の大原鈴菜さん。ファミリースピーチとしてSON・愛知の押川工さんが選ばれスピーチをしました。



ナショナルミーティングの司会をやりました。初めはできるか心配でしたが毎日1回、台本をお母さんと練習しました。本番当日、たくさんの方がいたので緊張しましたが大きな声でできました。終わった後、みんなにたくさんほめてもらいうれしかったです。これからもがんばっていきたいです。(アスリート 田中 寛大)



知的障害というハンディを持っている方々が夢中になれるものを見つけ懸命に取り組む姿が、健常者である我々の心に非常に大きな何かを語りかけてくれているような気がしました。一緒に司会を行なった田中くんも「何かをする」ということを心から楽しむ様子が今でも目を閉じれば蘇ります。またアスリートの方々の発表では、皆さんがどのような気持ちでトレーニングや試合を楽しんでいるかが非常によく伝わってきました。御家族の方々の話では、視野を広げて世界を見るという事が、今の現代社会において多くの可能性を生むという事を学びました。今回の司会を通じて、自分が想像もしたことがないような新たな世界や価値観に出会えた良い機会であったと感じております。また、アスリートの方々から教科書には載っていない学習より大切な何かを教えてもらった1日でした。今後、機会があれば是非スペシャルオリンピックスに携わりたいと思っております。

(愛知淑徳大学 心理学部 心理学科 1年 上古代健太郎)

名古屋グランパスサッカー教室報告

～豊田スタジアム芝生広場～

8月12日(土) 快晴の下、豊田スタジアム隣接の芝生広場で毎年恒例の名古屋グランパス サッカー教室が開催されました。今年はアスリート24名、ボランティア32名でしたが、名古屋グランパススクールコーチの指導で楽しく練習ができました。練習は、みんなでウォームアップをした後、3つのグループに分かれてゲームやボール遊びを行いました。また、ボランティアとして名古屋高校サッカー部の学生達が会場準備やアスリートと一緒にゲームをしました。とても良い経験になったのではないかと思います。ありがとうございました。サッカー教室の後は、みんなで名古屋グランパスの試合を応援しました。J1昇格を目指して頑張ってる選手にアスリートも感動していました。試合も見事勝利しましたので大喜びでした。

名古屋グランパス様ご招待いただきありがとうございました。



8月20日(日)午前10時～13時まで諸の木テニス倶楽部でテニスコーチクリニックが実施されました。

講師は田代(SON・福岡)氏、受講生は11名(テニスコーチ)

講義は2014年に改訂された、テニストレーニングのディビジョンごとの内容を主体とした1時間でした。実習は、約1時間半ディビジョンで使用するテニスボールの確認。受講生は、熱心に楽しく、ボールの違いを実感していました。



[寄付報告] 第11回友輪会チャリティゴルフから寄付金贈呈

2017年9月10日(日) 富士カントリー可児クラブ美濃ゴルフ場において、SON・愛知を支援する、第11回友輪会チャリティゴルフが開催されました。快晴のもと、村橋泰志会長の挨拶、中村公彦幹事からルールの説明があり、52名の参加者は各コースごとに記念撮影をしてプレーに入りました。2012年9月第1回開催より今回までの参加者累計は590名となりました。また皆様から総額で62,000円のご寄付をいただき、累計で785,970円となりました。第12回は来年3月の予定です。皆さまありがとうございました。(友輪会チャリティゴルフ 幹事 近藤義明)



プログラム・コーチ紹介

プログラムコーチ紹介5回目は、バスケットボールとバドミントンです。



バスケットボールプログラムは三菱電機名古屋製作所の体育館と南養護学校の体育館をお借りして運営されています。スタートして14年が経ち当時若かった?コーチ達も少し年をとりました(笑)。今は、高校生(3人)から62歳まで経験を積んだコーチ達がスキルアップを目指してアスリート達を指導しています。また、コーチ同士が結婚したこともあるくらい和気あいあいの雰囲気の中で楽しく練習しています。練習後に行われるコーチ達との握手会はアスリート達の楽しみとなっています。



バドミントンプログラムでは、アスリート8名、ボランティア5名という人数で活動しています。「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに通年開催で行っています。

シングルの試合ができるように、ゲームの進め方やルールを覚えながら技術を向上させています。ボランティアの年齢層も50代後半が多く、動きのスピードも落ちてきていますが、アスリートに負けないように大きな声を出して頑張っています。(バドミントン主任コーチ 山下輝晃)

ボランティアは、前列右から勝田祥巨、浦塚宏二、志水邦雄、猿子正幸、山下輝晃です。後列は、藤田保健衛生大学の学生のみなさんです。

◆ 寄付・協賛ありがとうございます。

日付	名称/連絡先(敬称略)	内容
8月12日	株式会社名古屋グランパスエイト	インカインド
8月31日	富士ゼロックス端数倶楽部	寄付金
8月31日	富士ゼロックス株式会社	寄付金

SON・愛知 事務局便り

【前回議事録確認】

ホシザキチャリティクラブから入金150万円は、寄附者の意向でSON・愛知の寄附金ではなく、2018ナショナルゲームの寄附金として処理した。(SON・愛知での入出金は“預り金”)

【報告事項】

1. ファミリー委員会(押川委員長) ①堀田まつり参加連絡済 ②福花園さん挨拶(河田副委員長、押川9/2(土)午前訪問予定…堀田まつりバザー一品協力のお願い)③花と緑のフォーラム(田村様と打合せ9/2(土)東山動植物園にて活動、ファミリーへ展開済み
2. 広報委員会(窪田委員長)

【報告事項】 ①9月号NL記事内容の確認と10月号、11月号検討依頼<9月号(8月9日締め切り)><10月号(9月6日締め切り)>予定<11月号(10月11日締め切り)>予定 ②SON・愛知のHPの掲載内容について ③今後のイベント(SOブース出展)愛フェス(9/16~17)、デンソーハートフル祭り(9/24) ALL TOYOTA BIG HOLIDAY(10/22)、パディオーク(10/29) ④SO説明会開催9/9(土曜日)13:00~15:00堀田事務所にて

【検討事項】①愛知のパネル見直し:デザイン案配付資料参照 ②愛フェスについて・2日分2万円のチケットの取り扱い各委員会で参加して頂く方に配付する(ボランティア委員会、ファミリー委員会中心に配付し各委員会から必要枚数と使用枚数事務局に報告する)・前日の金曜日にブースの準備実施(窪田さん、藤田さんで対応) ③SON・愛知のパフレット見直し・SON・熊本のパンフレットと同じタイプを採用→文面は熊本のものをそのまま使用するのではなく、例えば“SO”はケースによっては“スペシャルオリンピックス”と表記する等に見直す。 ④2018ユニファイドリレー in 愛知について

3. SP委員会(松田委員長) ①コーチクリニック・テニス8/20(日)午前 諸の木テニス倶楽部12名参加 ②グランパスサッカー教室8/12開催100名分の観戦チケットを支援いただいた ③秋期スポーツプログラム9月から開始 ④再開する卓球プログラムの参加者2名⇒特例ではあるが再募集を9月号NLで実施し、随時募集を行うとともに体験参加も受け付ける。途中参加もOK。⑤地区大会参加申込み状況SON・愛知のみA:132名、C:50名、V:159名地区合計381名競技不参加のアスリートの、開会式・HAPのみの参加大歓迎プログラムで案内する。⑥今年度の認定コーチ研修会SON・石川が担当で11/12金沢で開催4~5名参加計画中 ⑦ユニファイドサッカープログラムを9月から開催12月の第2回全国大会(大阪)を目指す、
4. 財務委員会(秋重委員長)①感謝状の贈呈7/27ホシザキチャリティクラブへ寄付金の感謝状を贈呈しました。ホシザキから総務部長・水谷様・小野村課長様・高橋主事様の3人、SON愛知から鈴木事務局長、秋重財務委員長が出席。②8月支援自販機による寄付金コカコーラ自販機79,715円前年比116%、小林様自販機8,310円前年比87% ③ナショナルゲームの個人寄付1口5,000円を3,000口募集、9月の初旬までにはSON・愛知の会員向けに案内を配送する。寄付者へのお礼はピンバッジ(金の縁取りあり)を考えている。
5. ボランティア委員会(八塚委員長) ①地区大会について ②ナショナルミーティングについて(ボランティア関連のみ報告)③企業会場借用について:9月より訪問開始
6. 大会事務局報告(八塚事務局長)【ナショナルゲーム2018愛知】「大会成功への要件」につきまして、資料を添付いたします。SON・愛知運営委員会にてご検討をお願いいたします。その後、大会実行委員会運営会議へ、提案させていただきます。事務局より配付資料をメールで皆さんに配信するので、各自は9/6までに事務局に回答する。
7. 事務局(鈴木事務局長) ①チャリティーコンサートチケット販売状況(8/21日現在)事務局93枚(入金済)、15枚(リゾートソリューション、秋重さん)、SON関係132枚(発送のみ)大会事務局160枚(未入金)、その他25枚(2枚入金済)不明(E+,しらかわホール)全部入金となれば425枚だが ②11/30(木)開催の名古屋フィルハーモニー交響楽団による福祉コンサートについて・アスリート無料、アスリート以外500円、事務局鈴木が当日会場にて受付と費用徴収予定是非、運営委員会の皆様にも参加をお願いしたい。③プログラム名の呼称変更(SO日本では変更済)(1)「水泳競技」→「競泳」(2)「ボッチャ」→「ボッチ(SOボッチャ)」④7月末現在の予算と実績状況(添付資料)⑤2018年度予算策定の進め方(案)坂本D&F(株)からの配当金を有効利用する。アスリート負担金の減額内容検討、古い道具・用具は買い替える。ナショナルゲームに拠出できる金額の算定等々

※このニュースレターの印刷は、富士ゼロックス愛知 ザ・ハートフルクラブ(社会貢献活動)様にご協力いただいております。



できる人が、
できる時に、
できることを
実施する

富士ゼロックス愛知は、この言葉をコンセプトに社会貢献に取り組んでおります。

富士ゼロックス愛知株式会社 社会貢献活動
<http://www.fujixerox.co.jp/acx/company/hinshitsu.html>